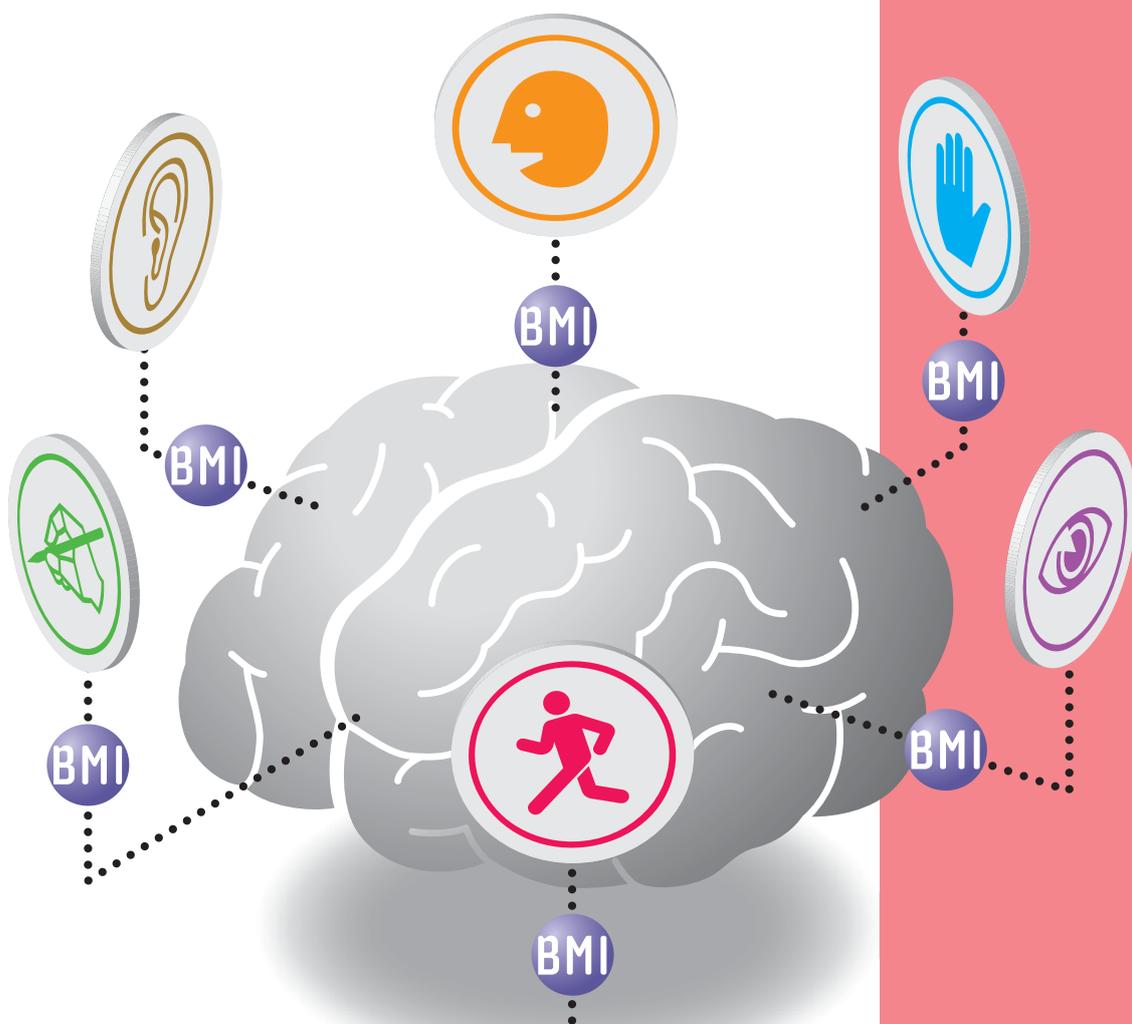


主催: 文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」(脳プロ)



脳科学研究戦略推進プログラムワークショップ

ブレイン・マシン・インターフェースの 実用化に向けて — 利用者・市民の立場から

プログラム

ブレイン・マシン・インターフェース(BMI)の 実用化に向けて: どこまで進んだか

- 講演1 BMIリハビリテーションの新たな可能性
慶應義塾大学医学部 里宇明元
- 講演2 低侵襲型BMIによる運動、コミュニケーションの再建
大阪大学大学院医学系研究科 吉峰俊樹
- 講演3 非侵襲型BMIによる障害者自立支援
国立障害者リハビリテーションセンター研究所 神作憲司

パネルディスカッション 実用化に向けての期待

進行: NHK福岡放送局 番組制作ディレクター 市川 衛

展示

BMIの実用化に関するパネル展示を行います。
実際の機器を用いたデモンストレーションや動画で最新の研究を
ご紹介いたします。

出展: 大阪大学、慶應義塾大学、日本大学、国立障害者リハビリテーションセンター研究所

2012年9月29日(土)
13:30-17:00

東京国際フォーラムホールD7
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

参加費無料・要事前申込

先着200名(定員になり次第、締め切りいたします)

本ワークショップについて

脳卒中、脊髄損傷、脳性麻痺、神経・筋疾患などにより肢体不自由となられた方の数は約300万人と推計されています。失われた機能を補うための革新的医療技術を開発・実用化することは、ご本人の日常生活の質の向上と社会参加を可能とするだけでなく、社会全体の医療・介護に係わる負担を軽減する重要な課題です。

平成20年度より、文部科学省は、“社会に貢献する脳科学”の実現を目指し、脳科学研究戦略推進プログラム（脳プロ）課題A「ブレイン・マシン・インターフェース（BMI）の開発」を開始しました。BMIは、脳と機械を相互につなぐ技術であり、このBMIを臨床応用できれば、障がいを持つ方々やそのご家族にとって大きな福音となると期待されています。脳プロ開始から4年が経過した今、世界をリードする成果が次々と上がってきました。いよいよ実用化に向けての道筋が大きく開かれようとしています。

本ワークショップでは、BMIの実用化に向けた研究についての講演と、パネルディスカッションを行います。最新の研究成果を共有し、幅広い立場からのご意見、フィードバックを頂くことによって、真に社会に役に立つBMIの実用化と臨床応用に向けての課題を議論します。

お申し込み方法

Eメール、電話のいずれかの方法で、お申し込みください。
お申し込みの際、以下情報をお知らせください。

ご提供いただきました個人情報は、本ワークショップの受付と統計・分析、および関連イベントのご案内以外には使用いたしません。

1. 氏名
2. 氏名フリガナ
3. 電話番号
4. 職業
5. その他ご参加に際しての連絡事項等

お申し込み

Eメール: bmi-ws@k-drive.jp



TEL: **0564-55-7804**

(脳科学研究戦略推進プログラム事務局)

プログラムおよびお申し込み方法については、脳プロホームページでもご確認いただけます。

脳プロホームページ

<http://brainprogram.mext.go.jp>

お問い合わせ先

脳科学研究戦略推進プログラム事務局 TEL: 0564-55-7804

会場アクセス

- JR線……有楽町駅より徒歩1分
東京駅より徒歩5分（京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡）
- 地下鉄…東京メトロ有楽町線 有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡

